

令和5年度 学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

- (1) 東京都立昭和高等学校 学校運営連絡協議会
- (2) 事務局の構成 主幹教諭＝事務局長、経営企画室長 計2名
- (3) 内部委員の構成
校長、副校長、経営企画室長、教務主任、生活指導主任、進路指導主任、総務部主任、保健部主任 計8名
- (4) 協議委員の構成
昭島市教育委員会指導主事、昭島市立中学校長、昭島市立小学校長、昭島市自治会連合会長、本校同窓会長、本校保護者代表、学校法人河合塾東日本本部立川校舎長、学校法人駿河台学園駿台予備学校立川校次長 計8名

2 令和4年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他
 - 第1回 令和5年6月22日（木）内部委員8名、協議委員6名
協議委員委嘱、評価委員委嘱、委員一覧、学校運営連絡協議会設置要綱、令和4年度学校経営報告、令和5年度学校経営計画、組織目標、卒業生の進路状況、令和4年度学校運営連絡協議会報告、令和4年度学校評価アンケート集計結果
 - 第2回 令和5年11月16日（木）内部委員8名、協議委員6名
学校の教育活動に関する報告、組織目標の中間報告、協議委員からの教育活動に対する意見、学校評価アンケートの内容検討・協議、意見交換
 - 第3回 令和5年3月7日（木）内部委員8名、協議委員4名
組織目標総括、学校評価アンケート集計結果、学校評価まとめ
- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他
 - 第1回 令和5年11月16日（木）
今年度の学校評価の変更点、学校評価の実施時期
 - 第2回 令和6年3月7日（木）
学校評価アンケート集計結果

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点
「学校の教育活動に対する満足度」「学校の指導方針への理解度」「開かれた学校づくり」の観点で実施する。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模

・ 12月 全校生徒	対象：948人	回収：626人	回収率：66.0%
・ 12月 保護者全員	対象：948人	回収：401人	回収率：42.3%
・ 1月 教職員	対象：48人	回収：34人	回収率：70.8%
・ 2月 地域	対象：約60人	回収：12人	
- (3) 主な評価項目
 - ①生徒・保護者・教員対象
「学校に対する満足度」「学習指導に対する満足度」「生活指導に対する満足度」
「進路指導に対する満足度」「特別活動・部活動に対する満足度」
「健康指導・安全指導に対する満足度」「開かれた学校づくり」
「新型コロナウイルス感染症の対応」
「教職員のライフ・ワークバランス」（教職員・保護者のみ）
 - ②地域対象
「本校の認知度」「広報活動」「教育目標に向けた教育活動」「教育活動の成果」
「規範意識の育成」「部活動の取組」「地域連携」
- (4) 評価結果の概要
 - ・ 昨年度は生徒、保護者、教員からは Office365 Forms を用いて実施し、さらに今年度は地域の方にも Office365 Forms を用いてアンケートを実施した。回答数が前年度に比べて、生徒（791

名⇒626名)は減少、保護者(415名⇒405名)も微減した。今年度は保護者にマチコミメールでもアンケート協力依頼を行った。

- ・地域も既存のネットから Office365 Forms によるアンケート方式に変更した。案内の配布枚数は減らしたが配布先を隣接小中学校にも広げたため回答数は大幅に増加(6名⇒12名)した。
- ・質問項目は昨年度と同様としたが、新型コロナウイルス感染症についての質問項目2問のうち1問を変更した。全体として、肯定的評価が微減傾向であった。

(5) 評価結果の分析・考察

- ・インターネットでの入力方式では回答率が下がるため、LHRの時間を使って入力させる等の働きかけをしているが、生徒の回答率は昨年度に比べて大幅減少(791名⇒626名)した。保護者の回答率は微減した。
- ・教員の回答は減少し続けている。歯止めをかけ回答率90%にすることが望まれる。
- ・コロナ禍が過ぎ、ほぼ日常生活が戻った1年であったがコロナの影響は学校にとって大きいことが回答状況からも伺えた。
- ・学習と部活動の両立という本校の柱に対して、昨年度同様、肯定的評価が見受けられた。今後も継続的に確認が必要である。
- ・学校行事の取り組みについて、昨年度できなかった行事ができるようになったため、その充実が益々求められていると感じた。
- ・生徒の自由記述では、学習に関するものが大半で、学習に対する学校への期待度が高いことが伺える。保護者の自由記述では、学習に関わる記述が多く、様々な要望があった。家庭学習のために課される課題に対して、多すぎるという記述が減った。課題の量が適正な方向に向いてきていると思われる。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題

(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・昨年に続き3回とも対面形式でできた。対面ながらの良さを充分認識しながらこの間でなくなってしまった地域・学校間交流の大切さを感じ、少しずつ推進していくきっかけが得られた。(東小学校への学習支援等)

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・キャリア教育の充実に向けて、社会の情勢に対応しながら改善することが必要である。
- ・オンライン学習を工夫改善する必要がある。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項

- ・改めて、対面授業の効果や重要性が認識し、オンライン学習への心構えを備えておく。対面授業との双方の良さを組み合わせ、生徒の学力向上に取り組む必要がある。
- ・コロナ禍が過ぎて、地域との関わりを増やしていく。

6 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

【実績】 職員会議 なし 企画調整会議 なし 【成果】 なし

7 その他

今年度も学校評価アンケートをすべてネット入力で実施した。便利であるが回答率上昇とはならず、回収率を高めるための工夫が必要である。